

障害者支援施設育心寮 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年10月20日（月曜日）9時40分より
- 2 開催場所 障害者支援施設 育心寮 相談室
- 3 出席者 利用者：1名
家族：2名
地域の関係者：NPO 法人 高齢者・障害者サポートクラブ 3名
職員：運営責任者含む2名
- 4 欠席者 なし
- 5 議長 運営責任者
- 6 議事録作成 職員

【議長】

令和7年度障害者支援施設 育心寮、地域連携推進会議の開催宣言と挨拶。

1. 育心会の概要
 - ・育心会の歴史紹介
 - ・育心会施設の紹介
2. 障害者支援施設 育心寮の概要
 - ・1949年1月開設
障害者総合支援法に基づいたサービス提供
昼間：生活介護
夜間：施設入所支援
短期入所：空所型
3. 事業計画（行事計画）
 - ・年間行事計画をもとに説明
施設内研修（年11回）職員会議（年2回）生活会議（年7回）
防災・感染症対策会議（年4回）行事（食事会・納涼会・日帰り旅行・忘年会）
避難訓練（年4回）
広報誌：たんぽぽ通信（年4回発行）
4. 利用者状況
 - ・利用者人数：男性36名・女性4名 計40名（令和7年10月20日現在）

- ・平均年齢：37.4歳
- ・平均支援区分：5.97
- ・入退所状況
 - 入所：令和6年2名 令和7年0名
 - 退所：令和6年2名 令和7年1名
- ・入院状況
 - 入院：令和6年4件 令和7年4件（令和7年10月20日現在）
- ・成年後見人制度利用状況
 - 20名が利用

5. 職員状況

- ・職員構成（令和7年10月20日現在）
 - 運営責任者1名 サービス課責任者（サービス管理責任者）1名
 - 生活支援員20名（うち1名 育児休暇中） 事務員1名

6. 虐待・ヒヤリはっと・事故報告書等

- ・各委員会の活動報告（年間活動計画）
 - 虐待防止委員会
 - 身体拘束適正化委員会
 - 感染症対策委員会
- ・令和6年度 苦情・要望受付状況
 - 苦情1件 要望2件
- ・令和6年度 事故報告提出状況
 - 総提出数13件（薬関係、車関係、施錠忘れ等）
- ・令和6年度 ヒヤリハッと提出状況
 - 総提出数10件（薬関係、施錠忘れ等）

7. 個別支援計画（意思決定支援）

- ・個別支援計画書について
 - アセスメント→個別支援原案作成→個別支援会議→個別支援会議本案作成→説明・同意・交付→サービス提供→モニタリング
- ・地域移行等意向確認等について
 - 令和8年度から義務化
 - 指針・マニュアルの作成
 - 地域移行等意向確認担当者の選任
 - 意向確認の実施

個別支援計画への反映

8. 育心寮の取り組み

- ・「利用者の良い所を見つけ共有しよう。」ノート設置

重度の利用者が多い中で、出来ないことばかり目に入りがちです。そうではなく、利用者が少しでも出来たこと、また笑顔が見えた等、日常の些細な出来事でも良いので、記録をして職員同士で情報を共有し、より良い支援に繋げています。

- ・「目安箱」の設置

職員が業務での疑問や悩み等があれば、事務所にある目安箱に投函をします（匿名可）。令和6年度は、17件投函がありました。投函が確認されたらすぐに、サービス課責任者が回答をしています。また、事案によっては、面談も行っています。

9. 質疑応答・感想

【利用者】

- ・要望・意見等を伺う。特にないとのことご返答。

【家族】

- ・現在、育心寮で実施している取り組み（「利用者の良い所を見つけ共有しよう」）について、感心させられました。重度の利用者が多い中だと、出来ない所ばかり目になってしまうのは当然のことだと思います。趣旨を伺い、利用者の良い所を見つけていこうとする取り組みは、入所されている利用者の方々にとって、大変嬉しいことだと思います。

【地域の関係者】

- ・育心会に限らず、福祉業界では人材不足であるが、求人誌や地域の広報などでお知らせをしているのでしょうか？
→スポット的な勤務体系については、報恩施設では畑作業員を募集しているように、どのような業態が必要かを勘案して求人誌に掲載しています。育心寮では、利用者への直接支援が主になってしまうため、なかなかスポット的な業務が無いのが現状です。
- ・自身の衣類を破いてしまう利用者に関して、ペットボトルのフィルムを破く作業を行うことで、衣類の拘りを他に逸らせていると伺ったが、1日中行うことが出来るのでしょうか？
→当該利用者は定期的に自宅へ外泊されており、その時は家族の方が傍にいて、長い時間行うことは可能だと伺っています。しかし、施設では他の支援もあるため、職員が1日中傍に居続けることが難しいです。そのため、1～2時間程で作

業自体は飽きてしまいます。短い時間ではありますが、同作業を実施してから、自身の衣類を破くことは格段に少なくなりました。

- ・入所されている利用者の方で、他の施設に短期利用されている方がいます。その理由は何でしょうか？

→育心寮は、ADL を重点的に置いた支援を実施しています。そのため、日中活動の充実はなかなか図れていません。当該利用者にはアセスメントを行った際、外部の活動に大変興味を持たれていました。そのため、地域移行も念頭において、他施設の活動に参加して頂いています。

- ・重度の利用者についての支援は特に難しいため、職員から不平・不満が出ることも想定されます。目安箱を通じて、職員が意見を言いやすい環境を作っているのは素晴らしいことだと思います。

→育心寮では、利用者が職員を叩く、髪の毛を引っ張る等、粗暴行為に訴える利用者も少なくありません。気持ちを何とか抑えられる職員もいれば、なかには、感情的になってしまう職員もいます。そのような場合、少し現場から離れ、休息を取らせます。目安箱の導入もそうですが、管理者からは職員の気持ちをケアすることで、仕事が嫌にならないように努めています。

10. 施設訪問の感想

【家族】（訪問日時：7月22日 11時00分）

- ・子供が育心寮入所時、施設に伺わせて貰ったが、その時よりも素晴らしい施設になったと思います。理由としては、重度の障害を持った利用者が殆どで、言葉が通じないにも関わらず、職員の方々がそれを感じ取り一生懸命に対応していました。子供に対しては、嚥下に問題がある中、食事の面でも、いろいろと工夫して頂き、感謝をしています。今後とも、引き続きよろしくお願いします。

【地域の関係者】（訪問日時：9月8日9時00分）

- ・私が知っている施設の中で、育心寮は最も障害が重い方が生活しているのではないかと思います。それでも、少ない職員の中で良く支援されていると思います。大変な事が多いかと思いますが、今後も引き続き頑張って頂きたいと思います。
- ・毎月、訪問していますが、以前に比べ匂いが無くなりました。職員と利用者の方が掃除をしている光景を目にしています。その影響もあるのかと思います。また、訪問時に腕を引っ張る利用者がいますが、最近では職員が傍に付いて来てくれるので、大変助かっています。
- ・重度の利用者が多い中、食事の提供方法等、いろいろと工夫されていると思い感心致しました。毎月、利用者の元気な声を聞きながら、訪問をしています。育心寮はエレベーターが設置されていないため、車椅子を使用されている利用者は、今後のことを

考えると行き場所が無くなってしまう恐れがあります。法人内の移動を検討する等、各施設、情報を共有して課題を解決して頂ければと思います。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げて、11時50分に閉会となる。